

天沼中だより

令和5年3月17日

杉並区立天沼中学校

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumachu/>



～卒業式を迎える3年生保護者の皆様へ～

校長 松尾 了

3年生保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。



お子様が中学校に入学した令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために約2ヶ月間、全国的な学校休業となり、当初4月に行われる予定であった入学式は急遽6月となり、その後は、当たり前であったはずの学校生活は一変しました。毎朝の健康観察、マスクの常時着用、三密を回避した行動、給食の時間は前を向いたまま黙食の毎日。そんな中、お子様が楽しみにしていたであろう、多くの行事は中止または大きな制限をしながらの実施となり、窮屈な学校生活を余儀なくされた3年間であったことと存じます。

ですが、この厳しい3年間を、お子様は「どうせできないから」「やっても無駄だから」とあきらめることなく、「心で考える人」となり、天沼中を支えてくれました。そして、何よりもお子様自身が、この3年間で本当に大きな成長を遂げられました。

前校長の水野英利先生が入学式で次のような式辞を述べています。(令和2年6月 入学式式辞 一部抜粋・改変)

天沼中学校の生徒となる皆さんに、私から一つお願ひがあります。皆さんには、「考える人」、「感じる人」になってほしい。さらに、頭で考え、心で感じる。その両方をしっかり備えた「心で考える人」になってほしいと思います。例えば運動会。クラスでの全員リレーの練習を行う前に、一人一人の50M走の記録をし、その平均を出せば、自分のクラスの実力を知ることができます。その結果、自分のクラスが最も遅いと答えが出たとき、頭で考えた答えに従えば、「結果がわかっているのだから、やらない方がいい」とか、「無駄な努力」との思いから行動が導かれることでしょう。しかし、努力を続ければ何かが変わり、何かを見つけ、何かが身に付く。そう心が感じれば、あきらめず練習を続けるでしょう。その結果、たとえ頭で考えた答えと同じ、つまり結果だけをみれば「無駄な努力」になっていたとしても、振り返ってみれば、行ったこと、続けたことで身に付けた力に気づくはずです。頭で考えた答えだけで行動すれば、効率的には思えても、得られるものが限られてしまうわけです。さらに、頭だけの考えでは、表には表れにくい部分、すなわち物事の本質を見極めるにも十分とは言えません。だからこそ、本当にそれでいいのか、自分たちは何を求めているんだ、ということを感じる心が必要になります。

これから皆さんが学校生活を送るにあたり、結果が100%分かることなど一つもありません。まして、これから時代、コンピュータやAIによる情報化社会において、物事の本質をとらえるためには、ロボットではできない、心で感じる作業が大変重要になります。人間には弱い部分があります。失敗を恐れるため、うそをついたり、逃げ出したりすることがあります。しかし、そこから生産されるものは皆無と言ってよいでしょう。むしろ、失敗を恐れずに向かうことで、未来は開かれます。頭で考えるという知性を伴う論理的思考に、感情や感覚となつて判断できる行為を加え、今、どうしたらよいのかを心をフル回転にして考え、行動してください。みなさんが「心で考えられる人」であってほしいと願っています。

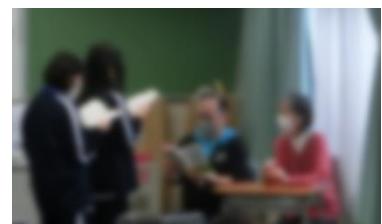
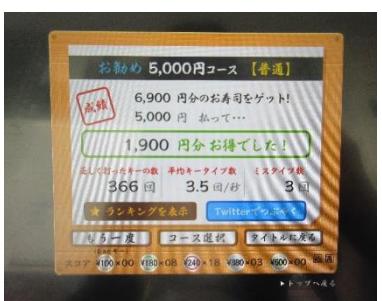
コロナ禍による制限の他、国際情勢や日本の社会情勢、学校での出来事など、3年間さまざまなことがあった3年生ですが、そのような環境の中でも、「失敗を恐れず、頭で考えるという知性を伴う論理的思考に、感情や感覚となって判断できる行為を加え、今、どうしたらよいのかを心をフル回転にして考え」行動を続けてくれた3年生の皆さん。



お子様が1年生の時、運動会で始まった「キンボーリ」「借り物競争」、2年生の時には生徒会主催の「タイピング選手権」、そして3年生での「階段アートの作成」、委員会活動では「昼休みお話し会」「昼の放送での物語の放送」、音楽発表会での「アカペラ」での合唱、そして今年度始まった「ことだま100選『朗読』」への取組。ことだま名人とKOTODAMA100マスターが多く誕生したのも今の3年生でした。厳しい環境の中でも、ここでは紹介しきれない多くのことを成し遂げてくれた3年生の皆さん。「心で考え」実際に行動を起こし、天中の新たな未来を開いてくれました。

結びとなりますが、3年生の保護者の皆様におかれましては、この3年間ご心配、ご負担をおかけしたことが多々あったことと存じ

ます。このような状況であっても、保護者の皆様から多くのご協力をいただき、本校の教育活動を支えてくださいましたことにこの場をお借りしまして感謝申し上げます。今後とも母校となります天沼中学校を末永くご支援くださいますようお願いいたします。本日までの理解とご協力をいただきありがとうございました。



あいさつの花運動↑これも現3年の代の生徒会発案でした。

天中 CS コーナー

ご卒業 おめでとうございます。

コロナ・コロナが付きまとっていた3年間でした。それは、中学生活での不安と困惑を増長させたかもしれません。

ですが、卒業生の姿をみると、たくましさと健気さをどこか感じるのではないでしょうか。保護者の方々の感慨というのは一言では表現できないかと思います。

卒業生の皆さん、「中学生になったら」という夢は叶えられたでしょうか。人生／進路の迷いを目の当たりにしたかもしれません。夢が叶った人とそうでない人もいるでしょう。ですが、それを気にしうぎることはないですね。

社会に出る前の学生時代の大きな目標は、自分がどう生きていくかを見つけること。小さくても試行錯誤しながら“選択”を積み重ねる中で、チャンスは見つかります。これからが本格的な“自分探し”です。保護者の方々と一緒に、地域の大人・CSはこれからも応援していきます。

2023年3月17日 天沼中学校学校運営協議会 (CS) 一同

祝 * ご 卒 業 (文中敬称略)

卒業生の皆様、保護者の皆様、9年間の義務教育を終え、それぞれの未来にはばたく日が近づきました。右は卒業証書フォルダ。さわやかな青竹色の表紙です。



令和4年度 第74回卒業式

今年度は保護者の方2名以内、代表生徒以外の在校生はリモート参加の形ですが、過去3年間に比べると、歌唱も可能となりました。「大地讃頌」もマスク越しですが復活です。

卒業生代表の言葉 3年

卒業生合唱 指揮 3年 伴奏 3年

校歌齊唱 指揮 3年 伴奏 2年

在校生代表の言葉 2年

表 彰

15日、予行練習のあと、3年生関係の表彰が行われました。

優良卒業生 学習に対する意欲及び成果をものづくりをとおして発揮し、さらに卒業後の進路に目的をもっている生徒を対象として与えられる賞

3年 2名



体育優良生徒 体育の授業やスポーツ、健康な体づくりに積極的に取り組み、他の模範となった生徒に与えられる賞

3年 2名



KOTODAMA マスター認定証

3年 1名



ことだま名人認定証

3年 5名

2年 1名

1年 3名

卒業を祝う会（生徒会主催）

在校生からの合唱「明日へ」

3年生の合唱「この地球のどこかで」

全校合唱「tomorrow」



卒業生の皆さんへ

～4月から天中同窓生です～

表彰式の後、都筑淳一同窓会会长様からお祝いの言葉と、同窓会入会についてご説明いただきました。卒業生の皆さんは4月から天沼中の同窓生となります。ずっと、天沼中学校を支え、見守ってください。

また、時には学校に顔を見せてください。「社会人マナー」として、あらかじめ電話で訪問のお約束をしてからのご訪問をお願いします。

令和4年度 天沼レスキュー隊修了式

今年度は区の発足式、修了式、合同訓練、校内防災学習会等、人数制限はありましたが、すべて復活した年でした。天沼中のレスキュー隊は今年度もたくさんの生徒が応募してくれました。3年間レスキュー隊に所属した3年生には、盾も贈られました。代表して、隊長を務めた大島詩織さんが壇上で受け取り、1、2年生に、地域防災の訓練やボランティアに多くの参加を、とメッセージを伝えてくれました。（敬称略）

R4レスキュー隊77名です！

2年

2年

1年

恒山 史丁



今年度最後の地域からの要請「八町会防災訓練」(天沼小)への参加(3月19日)で今年度の活動は終了です。3年生含め21名参加予定です。

天沼レスキュー隊 校内防災学習会

第1章「基础」



全校で卒業を祝う会



表彰式の後、生徒会主催でお別れの会を行いました。コロナ禍の中で、全校生徒が卒業式で集まれなくなった3年前から、生徒の皆さんのが思いで実現した会です。今年度は、3年ぶりの全校合唱が実現、教職員も目頭が熱くなりました。

在校生、卒業生との和やかに心温まるエール交換の場になりました。



卒業生答辞

旅立ちの春を迎える、うらかな日差しの下、校門の桜のつぼみも膨らみ始めました。私たち七十五人は今日、天沼中学校を卒業します。思い返せば3年前の今頃、私たちは小学校の卒業を控えての仲間との突然の別れ、始まらない中学校生活に戸惑いを感じ自宅待機の日々を送っていました。

そして、3年間の天沼中学校での生活のさまざまなものでコロナウイルスの影響を受けることになりました。入学式は、もう夏になろうかという6月に行われました。新生活の期待は崩れ去り、4月からは未知の感染症におびえ続ける、孤独な2か月を過ごしました。その年の合唱コンクールは、各クラスの歌がほとんど完成したところで中止になりました。それを覚えています。本当の中学校生活とはどんなものなのか、わからないまま一年目を過ごしました。

学校での行事がだんだんと実施されるようになつた2年生。コロナの状況が常に変化し続ける中、どの行事も直前まで開催できるかどうか分かりませんでした。しかし、校外学習の東京巡り、スキー教室ともに実施され、友人と同じ時間を過ごすことの楽しさを実感しました。東京巡りでは、「楽しんで自分の謎を解き明かせ」のスローガンのもとで班ごとに行きたい場所を決めて学びを深め、時間通りに行動することを意識しました。実際に巡つてみて計画的に行動する難しさを体感し学年の成長へとつなげるきっかけとなりました。スキー教室では、真っ白な世界の中でだんだんと技術が上達していく楽しさを友達と味わうことができました。頂上やゴンドラから眺めた峰の連なる雄大な景色に感動し、朝は晴れていたのに昼過ぎに雪が降る自然の変わりよう驚きました。夕食後のカードゲームや会話はクラスを越えて盛り上がった思い出です。行事が中止となる学校も多いなか、私たちは貴重な経験をすることができました。

天沼中学校の最高学年として、責任ある仕事の増えた3年生。委員長や部活動の部長として、下級生をまとめるの大変さを知りました。

運動会では、どちらが勝つか最後まで分からなかつた長縄で、各クラスが記録を上げようと、全員で団結し、汗を流しました。昼休みもクラスで練習を続けたことを懐かしく思います。

また、シーズン一番の暑さに苦しんだ修学旅行。自分たちで学びの課題を設定し、事前の準備をしっかりと行い、文化や歴史についての知識を深めました。実際に奈良や京都に行ってみると写真とは異なり、想像以上に大きな建造物や仏像の重厚さに触れて圧倒されました。また、みんなが楽しめるよう互いに気遣うことで、集団生活の難しさを超えて笑顔で二泊三日を過ごすことができました。

中学校最後の大きな行事である音楽発表会。どちらのクラスもアカペラに挑戦しました。クラスで一つにならなければ音楽としても成り立たない緊張感の中、意見を伝え合い、歌の完成度を高めました。伴奏者がいない中、声の作り出す和音の美しさを競い合うことができ充実した行事になりました。

この中学校生活は、多くの人に支えられていました。私たちがスムーズな学校生活を送れるよう、陰で支えてくださった地域の方や主事さん方。私たちの悩みに耳を傾け、行事では私たちに的確な指示を出し、進路選択や受験のときにエールを送つてくださった先生方。なにげない一言や行動で勇気づけてくれた友人。毎日のご飯を作り、お風呂を焚き、行事があるたびに「頑張って」「行ってらっしゃい」と送り出してくれたきょうだいや両親。本当にありがとうございました。私たちが成長してきた証をこの「卒業」という形で見せてきてうれしいです。

二年十か月の中学校生活で、たくさん喋り、ふざけ、笑つたものの、友人の笑つている口元の記憶はありません。そんな私は将来、「コロナ世代」というかわいそうな年代だと見られることがあるかもしれません。しかし、孤独な生活を体験したからこそ周りの人に自分はどうぞ支えられているのか、だれかと心から笑いあえることがいかに幸せかを痛感しました。開催と中止に搖れた行事を体験したからこそ、私たちは今、限られた機会を存分に楽しむために工夫する力をもっています。

この先、別々の進路を選ぶ私たちはそれぞれ、不安なこと、苦労することにぶつかることがあると思います。しかし、「人の絆」のかげがえのなさを知っていること、不安な時期をこの学校で助けたり、助けられたりしながら乗り越えたことを自信にして進んでいきます。

令和四年度 杉並区立中学校卒業式 祝辞

本日をもって九年間にわたる義務教育の全てを修了した卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。
また、常に温かい愛情をもって今日まで育ててこられました保護者の皆様、お子様の御卒業を心よりお慶び申し上げます。

さて、皆さんは、授業の中でも「SDGs」に関わる学習をしてきたことだと思います。二〇二〇年までの「持続可能な開発目標」の達成に向け、すでに各国の人々が対話を重ね、具体的な取組を実行しています。杉並区でも、再生可能エネルギーの活用や省エネ対策をさらに推進することで、温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「杉並区ゼロカーボンシティ宣言」をはじめとした様々な取組を行っています。

こうした取組において大切なことは、課題を自分ごととして考え、目標の達成に向けて話し合い、行動に移していくことです。皆さんとの三年間を振り返ると、よりよい学校生活を送るために、授業や学校行事、部活動などの場で、みんなで話し合い、行動してきたのではないでしょうか。時には、意見が食い違うこともあったかもしれません。そんな時、異なる意見をどのようにしてまとめるべきか、悩んだのではないでしょう。

私たちは、一人ひとりがかけがえのない存在であり、それそれが自分の思いをもっています。自分とは異なる気持ちや考えを尊重し、話し合いを重ねていくことで、よりよい答えを導き出せるはずです。

これから社会において求められることは、様々な課題を一人ひとりが自分ごととして捉え、国や言語の違いを越えて話し合い、共に行動していくことです。それが、自分の夢や願い、目標を叶えるとともに、誰一人取り残すことのない地域や社会を創り出していくことにつながっていきます。これから未来を生きる皆さんのが中心となって、他者と協力し、よりよい社会を築いていくください。

結びに、入学以来今までの三年間、卒業生の健やかな成長を願い、御指導に当たられました校長先生をはじめ教職員の方々、並びにPTAや地域の皆様に深く感謝申し上げ、祝辞といたします。

令和五年三月吉日

杉並区長 岸本聰子
杉並区教育委員会

御卒業 おめでとうございます。

いろいろなものを見て、
いろいろなことを聞いて、
いろいろなことを感じて、
夢に向かって 大きくはばたいてください。
みんなのご活躍を心から応援しています。

杉並区立沓掛小学校 6年担任団

卒業おめでとうございます。

今でも皆さんのが美術室にやってくる姿を思い出します。他愛のない話や時には悩み相談など、授業前の休み時間のおしゃべりが楽しかった。そんな時間を皆さんともてたことに感謝しています。

新たな世界に飛び立つ皆さんに「人任せにするな。常に表現者であれ！」と伝えたい。そして、素敵な大人になってくれることを期待しています。

元美術科教諭

ご卒業おめでとうございます

天沼の地域で育ち
学んだみなさんが
新しい世界に羽ばたき
活躍することを願っています

杉並区立天沼小学校
校長
教職員一同



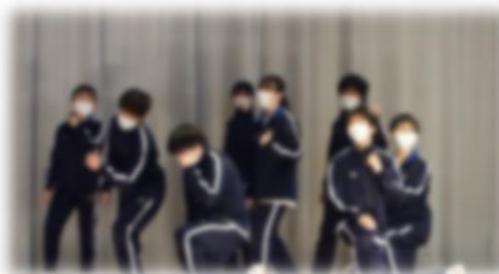
天沼中学校卒業生の皆さん

ご卒業おめでとうございます。自主自律共生という教育目標のもと、天中で力を培った3年生の皆さんのが新たな門出に際し、さらなる飛躍と今後のご活躍をお祈りいたします。

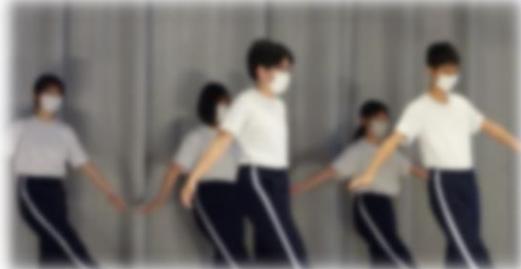
天沼中学校元職員

楽しかった！ 3年生最後の 3か月の思い出

落語会…笑った！
保育実習…癒されたー
ダンス…楽しかった！
朗読発表…集大成だ！



3年前から始まった、「3年生の話を聞く会」。受験が終わり、進路を決定した3年生の有志から、2年生が直接経験談を聞きました。また、3年生は全員で作成した「進路選択」のアドバイスを冊子にして、プレゼントしてくれました。



3月16日、名残惜しい学活後のひととき